

令和2年6月8日

# 南の風ジュニア版特集号Ⅹ

横浜市南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

**選手の皆さん！ 学校に登校できるようになってよかったですね！！**

バスケットボールの練習ができるようになるまで、もうしばらくのがまんです！Ⅹ号の続きです。

ドライブがウイークサイドにおこなわれた場合の4人の『スペース取り』についてです。

逆サイドのショートコーナーにいた選手は、ボールマンのドライブに合わせて自分サイドのエルボーに上がります。ドリブラーのじゃまをしないためです。自分のディフェンスがドリブラーのヘルプに行けば、一自分が空きます。自分についたままなら、ドリブラーはそのままシュートに行けます。この動き方は『**ティーアップ**』です。

ドリブラーから遠い方のウイングは、ダイブ（ダイブしてしまうとティーアップした味方とのスペースがなくなるため）せずに、コーナーに行きます。『**ドリフト**』です。

ツーガードのうちドリブラーに近い選手は、ドリブラーの元いた場所にリプレイス（元の場所を埋めること）します。ドリブラーが止まった時に合わせるためです。この動きも『**ドラッグ**』です。

ドリブラーより遠い位置のガードは、ドリブラーの動きに合わせてセーフティーになるため下がります。『**ディフェンス**』です。

以上が4アウト1インの、『**ボールマンのドライブに合わせるスペースの取り方**』です。

ドライブが起きると、ディフェンス側はそれに備えるようにボールに向かってヘルプします。それに対してオフェンス側は、ボールから離れる動きをすることでスペースを取ることができるのです。

皆さんのチームでは4アウト1インではなく、3アウト2イン、あるいは5アウトでオフェンスを組み立てているかもしれません。その場合でも基本的なルールを決めておくと、『スペース取り』がしやすくなります。Ⅸ、Ⅹ号で紹介したように、ドライブが来た方向によって4人が連動して円を描くように合わせることを「サークルルール」と呼ぶことがあります。

もう一つ例を挙げておきます。3アウト2インです。

3アウト2イン場合は、トップに1人（ワンガード）、左右ウイングに1人ずつ、ペイントに2人（対角のハイローポストで、ボールサイドがハイポスト、対角がローポスト）という形が基本的なアライメント（フォーメーション）です。ペイントに2人いますから、ドライブで攻めた時にスペースが狭くなりがちです。

リングに向かって右のウイングの、ウイークサイドドライブから始めます。

トップの選手がセーフティー（『ディフェンス』）に行きます。ドリブラーと同じサイドのハイポストの選手は、ドリブラーのポジションに『ドラッグ』します。逆サイドのローポストの選手は、コースを空けるように『ティーアップ』します。逆サイドのウイングは『ドリフト』してコーナーにカットし、パスコースを増やします。

右ウイングがミドルドライブした場合のスペース取りは、今までの合わせ方を参考にして、自分でシミュレーションしてみてください。